

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31201	社会のしくみ Learning how society works	古橋 敬一			2	選択	1・2後期

科目の概要 皆さんは、本学を卒業すると「社会に出る」、あるいは「社会人になる」わけですが、実はこれらの言葉を英語で言い表そうとすると、途端に難しくなってしまいます。例えば、「社会人」を“a member of society”と英訳してみても、この英語が表すのは「社会を構成する一員」、すなわち学生はもちろん、子どもから高齢者までのすべての人々という意味になってしまいます。それは、日本語の「社会人」の意味とはかけ離れています。なぜ、このようなことが起きるのでしょうか？それは、私たちが当たり前に使っている「社会人」、あるいは「社会」という言葉が、英語における人間の共同体としての“society”とは異なる、つまり極めて日本的な特徴を持っているからです。そして、本講義が扱う「社会のしくみ」も、主にこの日本人的特徴に注目しています。 講義の中には、みなさんが既に接しているものから、これから出会うであろうものまで、いくつかの「社会のしくみ」に関する基本的な知識が登場します。その基本的な知識を活用しながら、そこに起きているメカニズムや問題を取り上げて、私たちがこの日本社会の中で互いを尊重しながら共生していくための方法（＝課題解決）について一緒に議論考えて行きます。議論への積極的な参加を通じて社会人基礎力を身につけます。この授業は、ディプロマポリシー（以下、DP）の①～⑥に相当します。これらを身につけるために行います。
--

学修内容	到達目標
① 社会の中でさまざまな個人が共に生活（＝共生）するために必要なしくみ（基礎知識や制度）を理解する。 ② 社会の中でさまざまな個人が共生する際に生ずる問題を解決するために必要な知識・情報を獲得する。 ③ ②の問題に対する他者の考え方や見方を理解する。 ④ ②と③を通じて自分なりの目標と課題を発見し、その解決に向けての自らの考えを理由や根拠をつけて示す方法を理解する。	① 社会のしくみと、それがどのように機能しているかを説明できるようになる。（DP2②） ② 社会に生じている問題を解決するために必要な知識・情報を探し、まとめられるようになる。（DP④⑤） ③ ②に対する他者のさまざまな考え方を知り、理解できるようになる。（DP③） ④ ②と③を通じて自分なりの洞察ができ、目標と課題、さらには課題解決に向けての自らの考えを理由や根拠をつけて示せるようになる。（DP①⑥）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 ①シラバスを見て授業内容を確認し、事前に配付される教材に目を通し、知らない単語や分からない用語の意味を授業時までにあらかじめ調べておく。 ②日頃から社会で起こる出来事に関心を持ち、自発的に図書館で本や資料を調べ、インターネットで情報を収集するなどして、社会のしくみとその実態を把握するよう努める。
	働きかけ力
	実行力 ①事前に配付される教材に目を通して、知らない単語や分からない用語の意味を図書館の本・資料で調べたりインターネットで検索したりして、メモする。 ②授業後に提出が求められるリアクションペーパーに、講義内容に関する感想や意見、質問を書いて期限までに提出する。 ③出題されたレポートに取り組み、期限までに提出する。
考え抜く力	課題発見力 ①日頃より新聞やテレビの報道に積極的に接し、社会で起こる様々な出来事から、社会の抱える課題を見つけられるようにする。 ②配付される教材や自分で探した資料をよく読み、社会の抱える課題を挙げられるようにする。
	計画力
	創造力 社会の中で常識とされていることを再検討し、よりよい魅力的なアイデアを提案できるよう努める。
チームで働く力	発信力 ①授業の中で教員から紹介された考えや質問された点について、理由・根拠を示して自分の意見を述べることができる。 ②受講した授業内容について自らの感想や質問を書いたり、理由・根拠を示して自分の意見をまとめられるようにする。
	傾聴力 ノートをとりながら授業内容を正確に理解し、授業内容についての他学生の意見のポイントを把握できる。
	柔軟性 授業の中で紹介された考えや授業内容についての他学生の意見と自らの意見の異同を把握することができる。
	状況把握力
	規律性 ①遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ②なぜ社会にはルールが必要か、なぜ人との約束を守らなければならないかを理解し、社会に必要な合理的ルールや約束を守ることができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

・テキストは用いない。 ・参考文献は、授業中、またはGoogle Classroom上で適宜紹介する。
--

他科目との関連、資格との関連

・他科目との関連：「国際理解」「情報と社会」「経済のしくみ」「企業・経営のしくみ」「ジェンダーと社会」「消費生活の基礎知識」「社会福祉論」 ・資格との関連：情報処理士
--

学修上の助言	受講生とのルール
授業担当者から受講生全員へのアナウンスは、Google Classroom上で行います。普段から確認をお願いします。 成績判定に当たっては、授業時の発言やリアクションペーパーの内容も考慮します。また、日頃から新聞・テレビ・インターネット等で、ニュースに関心を持つようにして下さい。 スマートフォンやパソコンを使って、Googleドキュメントで文書を作成したり、PDF文書を開けるようにしておいて下さい。 新型コロナウイルス感染対策のため、遠隔授業に切り替わるなど受講方法が変わるのに伴い、シラバスの内容の一部が変更されることがあります。その場合は、別途案内します。	・遅刻早退は、基本的に認めません。また、6回以上欠席すると、期末試験の受験資格を失います。 ・学外実習、就職活動等であっても欠席扱いになります、ご注意ください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓			平常評価における中間レポート①②を踏まえて、学期末試験としてレポート試験を実施する。レポートの書き方を理解しているか、論じる内容にオリジナリティや批評性があるか、指定字数を満たしているかなどを評価のポイントとする。	
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
				④					
		レポート	50	①	✓				・到達目標①から④の理解度を測るため、2回の中間レポートを実施する。配点は、中間レポート①（20点）中間レポート②（30点）とし、講義の中でフィードバックを行いながら、各位が社会のしくみを論じるスキルを向上できるように教員がサポートを行う。また、上記の2つのレポートで、及第点に届く自信がない学生に関しては、追加レポート（30点）を提出する機会も設ける。 ・知識と技術の獲得とそれを活用し、社会的課題を解決する方法を理解できているかどうかのpisa型学力も評価する。
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①					
				②					
				③					
				④					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（１）講義内容に対するコメント（感想・疑問・意見）を毎回期限までに提出する。（主体性、実行力、創造力、発信力） （２）講義を欠席した場合は、欠席課題を期限までに提出する。（規律性） （３）レポートを期限までに提出する。（主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力） （４）コメントに対する教員からのフィードバックや他の受講生の意見を参考にして、自らの意見を再考する。（傾聴力、柔軟性）		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)：①+②+③ A(優)：①+② ①：社会のしくみが実社会の中で機能しているケースを指摘し、その理由・根拠を示し説明できる。 ②：社会のしくみが実社会の中で機能していないケースを指摘し、その理由・根拠を示し説明できる。 ③：②に対して、目標と課題を示し、有効な解決策を提案できる。	B(良)：①+② C(可)：① ①：社会のしくみの基本的な知識について最低限のことが理解できる。 ②：社会のしくみの基本について、自分とは異なる立場の人々の意見についても想像し、理解できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	【オリエンテーション】 「社会のしくみ」という言葉の背景には日本の特徴について理解する。	シラバスを用いて、全15回の講義内容の概略を講義する。ペアワーク、グループワーク等で興味のあるテーマについて議論する。パソコンを使って、コメントシートに感想・質問を記入する。	「社会のしくみ」がなぜ日本の特徴と関連するのか説明できる。	・予習：シラバスを見て、自分の興味のあるテーマの周辺知識を整理しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	【GDPと良い社会】 GDPとは何か、良い社会とはどんな関係にあるのか。経済と社会の関係について学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	経済の評価軸と社会の評価軸、お互いの関係について説明できる。	・予習：テーマに関連する分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②コメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
3	【勤労と自己責任】 「働かざるもの食うべからず」という言葉は、いつ誕生してどのような意味を持つのか、ということの起点に現代の勤労と自己責任の背景にある考え方を学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	①不法行為、故意と過失、因果関係、逸失利益などの用語を簡潔に説明できる。②被害者が加害者に損害賠償を請求できる場合を、具体例を用いて説明できる。	・予習：テーマに関連する分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②コメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4	【多数決と主体性】 多数決の原理に加えて少数意見の尊重という民主主義の原則について学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	多数決の原理と少数意見の尊重は、何が矛盾していて、どうやって成立しているのか説明できる。	・予習：テーマに関連する分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
5	【デモと私たち】 デモはどのようなときに起きるのか、またどのようなルールや考え方に基いて行われているのかを学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	デモには正統性が必要であることを理解できる。	・予習：テーマに関連する分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
6	【社会問題の個人化】 社会問題がなぜ個人化するのか、その構造について学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	社会問題が個人化する現象について説明ができる。	・予習：テーマに関連する分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	【平等と公正】 平等と公正の意味を学び、日本社会の中でのこれらの言葉の使われ方を学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、レポート課題の解説、パソコンを使ってコメントシートの記入	平等と公正について、それぞれの意味と違いを説明できる。	・予習：テーマに関連する分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	【安心と信頼】 安心と信頼の意味を学び、日本社会におけるこれらの言葉の意味の変遷を学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	日本社会において安心と信頼というキーワードが示す意味を説明できる。	・予習：テーマに関連する分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	【レポートの書き方の解説】 関心があるテーマを取り上げて、レポートを書く際の手順を学ぶ。	オンデマンド、パソコンを使って講義を視聴し、コメントシートの記入	レポートの書き方を理解できる。	・これまでの講義を振り返り、レポートで書きたいテーマを選んでおく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②コメントシートを提出する。(120分) パソコンを使って	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	【公と公共性】 日本国憲法21条は表現の自由を保障している。そこで、まず、①社会の中でなぜ表現活動を保障しなければならないかについていくつかの見解を紹介する。次に、②「他人の悪口をいう」表現活動と名誉の保護が対立した事件の判決を参照して、社会のしくみとしてどこまで表現活動の自由を保障すべきかを考える。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	①表現の自由を保障すべき理由を列挙できる、②表現の自由の保障と名誉の保護が対立した事件における最高裁判所の判決の要点を説明できる。	・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
11	【推し活と沼】 人はなぜ推し活に熱狂し、沼に落ちるのかについて考察する。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	「推し活」と「沼」について、説明ができる。	・予習：テーマに関連して、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	【墓じまい】 墓じまいを事例に、想定されるさまざまな課題について考察する。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	墓じまいのプロセスを理解し、関連する様々な課題が起きる理由も理解できる。	・予習：テーマに関連して、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	【社会制度としての結婚】 日本の社会制度としての結婚の歴史の変遷について学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	社会制度としての結婚の変遷を説明できる。	・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	【共に生きるために】 共生の前提としての「わかりあえなさ」について学ぶ。	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	「わかりあえないことから始める」ための方法について理解できる。	・予習：配付資料を読み、分からない用語を調べ、質問に答えられるよう準備しておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	【総括】 社会のしくみの全講義を振り返る	講義、グループワーク、フィードバック、パソコンを使ってコメントシートの記入	社会のしくみに関係する基本的な知識を理解できる	・これまでの授業を振り返って、改めて疑問があれば調べておく。(60分) ・復習：①授業時に記録した講義メモを整理してノートにまとめる。②パソコンを使ってコメントシートを提出する。(120分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力